

スポーツや健康を重点的に学ぶコースが誕生！

スポーツ健康コース

1. スポーツ健康コースとは？

スポーツは、健康の維持増進や地域の活性化において重要な活動です。北海道は、子どもたちの体力低下や急速に進む過疎化・高齢化の問題を抱えており、スポーツや健康のニーズは将来的にもますます高まっていくと考えられます。

スポーツ健康コースでは、あらゆる年齢を対象としたスポーツ活動による健康づくり、市町村との連携したスポーツを活かした地域づくり、スポーツを通じた障がい者の支援に関する学びを通じて、北海道の元気や健康を支えるスポーツの専門家やスポーツを極めた行動力のある公務員を育成します。

2. スポーツ健康コースの3つのポイント

1) スポーツについてじっくりと学ぶことができます

スポーツ健康コースでは、スポーツや健康に関連する科目をさらに充実し、スポーツについてじっくりと学ぶことができるようにしました。部活動と両立することももちろん可能です。

2) スポーツ系、公務員関係の資格を組み合わせることで取得することができます

スポーツ健康コースでは、「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」「初級障がい者スポーツ指導員」「レクリエーション・インストラクター」のスポーツ系資格を取得することができます。また「社会教育主事任用資格(社会教育士)」を取得することで、公務員(市町村職員)に求められる学びを深めることができます。さらに「介護職員初任者研修」や「介護予防リーダー」などの資格も取得できます。これらの資格は、進路に合わせ、組み合わせることで取得することが可能です。資格取得に向けては、教員がしっかりとバックアップします。

3) スポーツを生かした仕事に就くことができます

地域や福祉の現場では、みなさんが培ってきたスポーツの力を発揮できる職場がたくさんあります。スポーツ健康コースでは、運動指導者や公務員(市町村職員)など、健康づくりや地域づくりで活躍できる人材を育成します。公務員講座など充実した対策によって、これまで多くの自治体職員を輩出しています。

【学びを生かした将来像】

- 健康スポーツ指導者
- 健康づくりセンター職員
- 公務員（北海道・市町村職員）
- 公務員（警察、消防、北海道福祉職）
- 機能訓練特化型デイサービス職員
- 介護職員

3. スポーツ健康コースがお勧めする学び方

スポーツ健康コースでは、複数の資格を組み合わせることで取得することをお勧めしています！

1) 介護や介護予防についてのノウハウを熟知した運動指導員

運動指導者を目指したい人であれば、「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」といった運動系の資格に「介護職員初任者研修」「介護予防リーダー」をプラスすることをお勧めします。特に高齢者を対象とした健康づくり運動の指導では、「介護の知識や技術」を知っていることで、高齢者に寄り添った指導を可能にします。また「介護予防リーダー」の資格を取得するための授業では、地域に在住する高齢者と連携しながらイベントの企画・運営を行います。実際に高齢者から学ぶことのできる貴重な機会となっています。

健康運動指導士

介護職員初任者研修



健康運動実践指導者

介護予防リーダー



2) 運動指導ができる社会教育主事・社会教育士

公務員（社会教育主事）という進路にも実績があります！公務員を希望する方は、「社会教育主事」や「社会教育士」の取得をお勧めしています。さらに運動系の資格も加われば、小さな自治体では採用時の強みになります。

社会教育主事
(社会教育士)



健康運動指導士

健康運動実践指導者

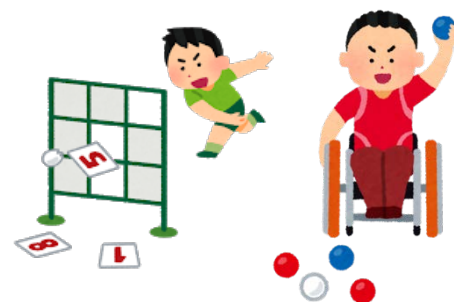


この他にも「レクリエーション・インストラクター」や「初級障がい者スポーツ指導員」などが、取得できます。これらも組み合わせ、支援の幅を広げましょう。



レクリエーション・インストラクター

初級障がい者スポーツ指導員



4. おわりに

北海道では過疎化と高齢化が進んだ自治体が多くあり、健康づくり・介護予防のいずれもが「待ったなし」の課題となっています。こうした社会的なニーズに対し、より豊かなで幸せな高齢社会を実現していく人材を輩出していきたいと願っています。

ぜひ一緒にスポーツ健康コースで学びましょう！！

